

## 公立大学法人大阪府立大学 平成 18 事業年度の業務実績に関する評価結果（たたき台）についての意見と修正点

区分	「たたき台」に対する意見等	修正した内容
全体の構成等	○ 今年度の事項だけでなく、必要な箇所に、昨年度の評価結果の要点を書き加えてはどうか。	○ 全体評価及び大項目評価の「評価結果と判断理由」欄に、【参考】として、昨年度の評価結果の概要を追加。
2 全体評価	○ 昨年度の評価には、委員会の付記意見として、全体的なコメントがあったが、今年度はないのか。	○ 「評価結果と判断理由」に以下のコメントを追加。 ・「初年度に改革した制度をいかに機能させるかが、2年度目の重要な課題であったが、理事長のリーダーシップの下、教員が意欲的に教育研究に取り組める仕掛け・環境整備に積極的に取り組んでいることを強く感じた。これまでは、いわば助走の期間であり、取組みの成果が本格的に現れるのは、これからである。今後、研究教育の実質的な面で、どのような成果を出されるのか、さらなる発展に期待する。」
3-1 業務運営の改善 及び効率化	○ 小項目 146 番に関して、「学長がトップダウンで…」という記述があるが、計画にはそのようなことは書かれていない。誤解を招くので、表現を改めるべき。 ○ 「戦略的な視点」から必要な組織を開設するといった表現ではどうか。	○ <大項目評価にあたって考慮した事項>及び「参考資料 小項目評価」の該当部分の表現を以下のとおり修正。 ・「学長がトップダウンで…」⇒「学長が戦略的な視点から…」
3-2 財務内容の改善	○ 評価結果は A でも良いと思うが、内容的には S に近いので、外部研究資金の獲得についての意見・指摘の記述を「高く評価する」とする等、表現にメリハリを持たせてはどうか。 ○ 外部研究資金の獲得が増加し、収入に占める割合が大きくなることは、収入構造が不安定になることでもある。コアの収入は、授業料や学生納付金、運営交付金で、プラス外部研究資金というのが基本構造だと思う。収入構造の安定化が重要なので、今の段階で財務内容が改善したと言うと、異論が出る可能性もあるのではないか。	○ 「評価に当たっての意見、指摘等」の外部研究資金の獲得に関する記述を以下のとおり修正。 ・「…努力を評価する。」⇒「…努力を高く評価する。」 ○ 「評価に当たっての意見、指摘等」に以下のコメントを追加。 ・「外部研究資金の獲得は望ましいことではあるが、法人の収入構造の安定化といった観点からは、学生納付金や運営費交付金等の動向を十分注視する必要がある。」